

## 第 12 回 鶴川中央小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

|              |                           |  |
|--------------|---------------------------|--|
| 開催日時         | 2025年9月11日(木) 9:30~10:20  |  |
| 開催場所         | 町田市立鶴川第四小学校 家庭科室(ウェブ会議併用) |  |
| 出席者<br>(敬称略) | 委員                        | 岩永委員、小池委員、沼尻委員、柄澤委員、増田委員、竹村委員、大隅委員、仲村委員、浅沼委員、◎鵜坂委員、○高橋委員<br>(◎会長、○副会長) |
|              | 事務局                       | 指導課、教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、教育センター                             |
| 傍聴者          | 0名                        |  |

## 議事内容(敬称略)

## 1 第 11 回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課 (資料 1 説明)

## 2 報告事項

新たな学校推進課 (資料 2-1-1 説明)

校章制作者

校章を制作しております新実より説明をさせていただきます。

まず、これまでの歩みについて少しご紹介させていただき、その後、校章案の説明をさせていただきます。

(資料 2-1-2 説明)

委員

「中央」がつく学校が他にもあり、今後、統合により増える可能性もあるため、区別がはっきりつく方が良いと思う。そういう意味では、鶴が入っている校章が良いのではないか。

「鶴川」という村の名前になったのは、8つの村が一緒になるときに、8つの村にはみな鶴見川の支流が流れているということで鶴川村になったという。そういう点でも、鶴のシンボルが入っている方が良いと思った。

それから、鶴川で関連が深いのは富士山ではなくて丹沢の大山である。江戸時代に大山の神社へお参りするのが非常に盛んで、その大山につなぐ街道が町田を通っていた。町田は大山でもって栄えてきた市なので、山を考えるなら富士山ではなく大山を考えるべき。

また、体操着などに校章がつくならば、それを見ただけで鶴川中央小の子だと区別ができるような校章が良いなと思った。

委員

実は、統合の話が出たときに、PTAとして子どもたちや地域の方など、広いところで統合について考える会を立ち上げた。その会の名前が「鶴川セブズ」といい、その由来が鶴三小と鶴四小を合体させて「セブズ」というところから、その団体名を考えた。それがここまでつながってくれて、すごく嬉しいなと思った。それも踏まえると、花びらが7枚あるとか、鶴三小と鶴四小が一緒になった学校というところの歴史がすごく感じられるのかなと思った。

ただ、カラーを使用する機会は少ないと思うので、白黒にしたときにどれが一番いいのかや、子どもたちが見やすいかなどを考えると案4が良いと思った。

委員 どれもうまくまとまっているなと思った。個人的には案2が一番インパクトがあり、単純で分かりやすくいいと思った。

委員 カラーで見るのと白黒で見るのとでは全然イメージが違う。やはり校章を見るときは白黒で見る人が多いと思うので、案2はこれからグローバル化していくという意味も込められていて良いと思った。また、日本らしさも取り入れられていて、ぱっと見たときに力強く、白黒で見たときにもインパクトがある。

桜や富士山は結構使われていることが多いので、鶴を使っているというのは、鶴が関係している学校だというのが見てすぐ分かりやすい。

委員 案5はとてもきれいでかわいいけれども、子どもアニメに出てくるものにニュアンスがちょっと似ているのかなと思った。これはとてもキャッチーで、子どもたちはとても好きそうだ。案1か案2の鶴の中央小というのが目を引き、覚えやすく、マークで入っていたとしても、中央小だと分かるのではないかと思った。

委員 子どもたちの意見をまとめてくださり、本当すてきなデザインでどれになってもいいと思った。1つ気になっているのが、最終的な選定基準にはこういった要素が強く関わってくるのかということである。子どもたちの多数決になるのも違うと思うが、なるべく意見が反映されるとみんなでやってきた意義がある。

新たな学校推進課 明確な判断基準を示すのは難しいが、いろいろな要素を考えながら決めていきたい。新しい学校に込める想いや、白黒になったときにどうかや、緞帳・校旗にするとどうかなど、また、鶴川地区の他校の校章との関連なども含めて考える必要があり、いろいろな要素を考えながら総合的に判断したい。

委員 案2を最初見たときに、航空会社を思い出してしまい、少し寄っているかと思った。そこで、モノクロのデザインで見比べると一番イメージが湧くと思う。そうすると案4や案5のようなシンプルな校章がいいなと感じた。

委員 どの案もすごく考えられていて、素敵だなと思った。これというのは選べないが、「これに似ている」というものでない方が、中央小らしさが出てくるのかなと思った。

委員 個人的には案2が、白黒にしたときに一番いいかなと思った。

施設課 (資料2-2説明)

委員 鶴三小の教室整備工事について報告があったが、鶴四小の工事のことが気になっている。例えば歩道について、路側帯のところに電柱があって、子どもがうまく通れないことや、11月・12月になると毎日ケヤキの葉を掃くのに大変である。

工事のことについて申し上げたいことがたくさんあるので、推進協議会では校舎内部だけでなく外回りも含めてどんな工事をするのかを協議してほしい。

新たな学校推進課 ご報告できることは協議会の場で共有したいと思う。もちろん地域の方々や委員

の皆さんにも、お知らせできる段階で、新たな学校づくり通信なども活用してお知らせしたいと思う。

施設課

全体の事業スケジュールや建物の解体、新築工事は以前ご報告した内容から変わっていない。地域の方々に工事の内容をご説明する際は必ず、市や受託業者を含め、誰がどういう形の工事をするのかというスケジュールや内容のご説明をさせていただく。

ただ、実際に新校舎の形といったことについては、別途ご報告できればと思っている。

会長

(閉会のあいさつ)